

04魚管工第10号

湯之谷会館エントランスホール屋根防水改修工事

(有)サクライ設計

図面番号	図面名称	縮尺	
0	表紙 図面目録	A 1 判	A 3 判
1	改修 特記仕様書 (その 1)	—	—
2	改修 特記仕様書 (その 2)	—	—
3	改修 特記仕様書 (その 3)	—	—
4	改修 特記仕様書 (その 4)	—	—
5	改修 特記仕様書 (その 5)	—	—
6	改修 特記仕様書 (その 6)	—	—
7	案内図 配置図	1 / 3 0 0	1 / 6 0 0
8	1 階平面図 (参考)	1 / 1 0 0	1 / 2 0 0
9	2 階平面図 (参考)	1 / 1 0 0	1 / 2 0 0
1 0	3 階平面図	1 / 1 0 0	1 / 2 0 0
1 1	正面 立面図 (参考)	1 / 1 0 0	1 / 2 0 0
1 2	詳細図 1	1 / 2 0	1 / 4 0
1 3	詳細図 2	1 / 2 0	1 / 4 0
1 4	仮設計画図 (参考)	1 / 2 0 0	1 / 4 0 0

湯之谷会館エントランスホール 屋根防水改修工事 設計図		令和 4 年 8 月 (全 校)	
仕様書		Ⅱ 特記仕様	
Ⅰ 共通仕様		1. 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 2. 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。 3. 特記事項の記載の[] 内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 特記事項に記載の() 内表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。 4. 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。	
2. 改修標仕に用いられている用語を、次のとおり読み替える。 (1) 「工事請負契約書」を「魚沼市財務規則(平成16年11月1日規則第49号)別記(第167条関係)建設工事請負基準約款」(以下「約款」という。)に読み替える。 (2) 「監督職員」を「監督員」に読み替える。 (3) 「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。 3. 次の各号に該当する改修標仕の項目について、改修標仕の規定を別表に置き換えて適用する。 (1) 1 章 1.1.2用語の定義の(7)、(ㄷ)及び(ㄱ) (2) " 1.4.2材料の品質等の(1)及び(2) (3) " 1.4.4材料の検査等の(1) (4) " 1.7.1工事検査の(2)及び(3) 4. 改修標仕の次の項目の規定は適用しない。 1 章 1.1.2 用語の定義の(ㄴ) " 1.7.2 技術検査		章 項 目 特 記 事 項 ① ① 工事実績情報 ※請負工事費500万円以上の場合、登録する [1.1.4] サ・ビ・ス(CORINS)への登録 章 2 概成工期 ※無し ・有(工期 令和 年 月 日) [1.2.1] 3 内部の工事期間等 ※着手 令和 年 月 日 ～ 終了 令和 年 月 日までとする。 ※工事請負約款第34条に基づき、部分使用承諾書により、施設内部の使用を開始する。 ※次の作業は内部工事着手前に行える。ただし、着手日、作業箇所は施設及び監督員と協議のうえ決定する。 ※外部足場組等の仮設工事 ※工場制作のための現場寸法調査 4 品質計画等 建築基準法に基づき指定する条件 [1.2.2] ・地区の区分に応じた風速 (Vo (m/sec)) ・ 3 0 ・ 3 2 ・地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV ・多雪地域の指定 積雪区分 催告示第1455号 別表() 5 監理技術者の要件 ※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 1 建築工事の施工に関し、10年以上の実務経験を有すること。 2 一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後4年以上の実務経験を有すること。 6 電気保安技術者 ※要 ⑦ 発生材の処理等 10追加特記 7「発生材の処理等」による。 [1.3.12] ⑧ 特別な材料の工法 改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。 9 施工数量調査の方法 目視及び打診(必要に応じて破壊)による調査を行う。調査範囲及び調査内容は各章による。 [1.5.2] ⑩ 技能士 [1.6.2] 適用工事種別 技 能 検 定 の 職 種 防水改修工事 ・ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業 ・合成ﾎﾞﾙﾁｰﾄ防水工事作業 ○塗膜防水工事作業 ○ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ○左官 ・建築板金(内外装板金作業) 外壁改修工事 ・左官 ・ﾀｲﾙ張り ・塗装(建築塗装作業) ・樹脂接着剤注入施工 建具改修工事 ・サッシ施工 ・ｶﾞﾗｽ施工 内装改修工事 ・建築大工 ・左官 ・表装(壁装作業) ・内装仕上げ施工 (・ﾌﾟﾗｽﾀｯｸ系床仕上げ ・ｶﾞｰﾄﾞ仕上げ ・鋼製下地工事) ・ﾀｲﾙ張り 塗装改修工事 ・塗装(建築塗装作業) 耐震改修工事 ・とび ・型枠施工 ・鉄筋施工 環境配慮改修工事 ・防水施工(ｱｽﾌﾙﾄ防水工事作業) ・ｶﾞﾗｽ施工 ・造園 ﾌﾞﾛｯｸ,ALCﾊﾞｰﾈﾙ工事 ・ﾌﾞﾛｯｸ建築 ・ALCﾊﾞｰﾈﾙ施工 石工事 ・石材施工(石張り施工) ・ 11 見本施工 ※実施する [1.6.5] 12 化学物質の濃度測定 10追加特記 8「化学物質の濃度測定」による。 [1.6.9] ⑬ 完成図等 ※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図 ・平面図 ・立面図 ・断面図 [1.8.1～1.8.3] ・仕上表 ・建物 の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ※竣工図 (A1 部 A3 1部) ○C A Dデータ ⑭ 施工図等の取扱 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。 ⑮ 工事完成写真 ※同一箇所の改修前と改修後が比較出来るように整理のうえ監督員に提出する。 ※提出部数 1部 ⑯ 工事施工状況写真 ※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領(平成28年版)」による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編(平成30年版)」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。 ※提出部数 1部 17 設備工事との取合い 10追加特記 6「工事区分表」による。	
別 表 (建築改修工事)		② 仮設工事	
号 項 目 置き換え後の改修標仕の規定		② 監督員事務所等	
(1) 1.1.2 用語の定義		③ 工事用水	
(7)「監督員」とは、約款第10条に基づき受注者に通知された者をいう。		④ 工事用電力	
(ㄷ)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は押印された文書という。		5 仮設建物等	
(ㄱ)「工事検査」とは、約款に基づく次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。(ただし、②に係る検査を除く。)		⑥ 足場	
①工事の完成(約款第32条)		⑦ 養生	
②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条)		8 仮設間仕切り	
③部分引渡し指定部分に係る工事の完成(約款第39条)		仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1]	
④契約の解除時における出来形部分(約款第52条)		種 別 下 地 仕上り材(厚さmm) 充填材(mm) 塗 装	
⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第53条)		・A種 ※軽量鉄骨 ※せっこうﾎｰﾄﾞ(※9.5) ※無し	
(2) 1.4.2材料の品質等		※B種 ・木造 ・合板(※9)	
(1)工事に使用する材料は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(一般社団法人公共建築協会)契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、新品とする。ただし、設計図書に定めのある場合は、この限りでない。		・C種 単管 防炎シート	
(2)使用する材料が設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。		仮設厚 ※木製厚 合板張り程度	
ただし、設計図書に定めるJ I S又はJ A Sの材料で、J I S又はJ A Sのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(7)から(9)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。)は、この限りでない。		・行う厚さ()	
(7)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料		・片面	
(4)建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品(特記で改修標仕及び標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。)		・片面无し	
(9)特記により指定された材料又は製造者の製品		・片面	
(3) 1.4.4 材料の検査等		③ 1 施工数量調査	
(1)工事現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(7)若しくは(4)に該当する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。		1 施工数量調査 [1.5.2]	
(7)工事完成検査時又は工事写真で、J I S若しくはJ A Sのマークを確認できる場合		下記の調査結果について、施工方法、施工箇所、施工数量等をまとめた施工数量調査報告書を提出し、監督員の承諾を得て施工する。	
(4)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時又は工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合		調査範囲	
(4) 1.8.1 工事検査		屋根、底等の防水改修工事の対象となる既存ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾄﾙ面等	
(2)約款に基づく部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。		調査内容	
(3)(1)の通知又は(2)の請求に基づく検査及び約款第51条及び第53条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。		ひび割れの幅及び長さや屋根面等に図示する。	
		浮き部分、欠損部を屋根面等に表示する。また、脆弱部を調査する。	
		部分的な水はけ不良部や勾配不良の箇所を屋根面等に表示する。	
		② 防水の保証等	
		※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする。	
		工 法 種 別 施 工 箇 所 保 証 期 間	
		○超速硬化ウレタン工法 エントランスホール屋根 10年間	
		・ 工法 10年間	
		・ 工法 10年間	
		3 アスファルト防水	
		[3.1.4][表3.1.1][3.3.3][表3.3.3～表3.3.10]	
		防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水工法の種別	
		・P1B	
		・P1BI・T1BI	
		・P2AI	
		・P2A	
		・M4C	
		・POD・M3D	
		・PODI	
		・M3DI	
		・M4DI	
		屋内防水	
		・P1E・P2E	
		アスファルトの種類 ※3種	
		[3.2.2][3.3.2]	
		・二重ドレンの設置(・POD工法・PODI工法)	
		・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去(M4C工法、M4DI工法)	
		・粘着層付改質ｱｽﾌﾙﾄﾎｰﾌｨﾝｸﾞ 厚さ(mm) ※1.5以上	
		・改質ｱｽﾌﾙﾄﾎｰﾌｨﾝｸﾞ 厚さ(mm) ※3.0以上	
		・断熱材(屋根保護又は露出防水断熱工法)	
		厚さ(mm) ※25	
		材質 屋根保護防水断熱工法 ・押出法ﾎﾟﾘｽﾃﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bｽﾃﾝﾍﾞｰﾙ層付き(JIS A 9521 建築用断熱材)	
		材質 屋根露出防水断熱工法 ・ﾎｰｽﾞ法ﾎﾟﾘｽﾃﾝﾌｫｰﾑ断熱材	
		・押出法ﾎﾟﾘｽﾃﾝﾌｫｰﾑ断熱材	
		・硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材(2種1号又は2号の場合、透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるもの)	
		・ﾎﾟﾘｴﾃﾝﾌｫｰﾑ断熱材	
		・ﾌｫｰﾑﾎｰﾙ断熱材	
		仕様書(そのI)	
		Ver. 020401	
		5 合成高分子系ﾎｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水	
		3 アスファルト防水	
		乾式保護材の材料 [3.3.2]	
		種 類 寸法(mm):厚さ×幅 摘 要	
		・押出成型ﾎｰﾄﾞ板 ※I類 ※15 × ・無石綿に限る	
		・金属複合板 ※II種 × ×	
		・金属複合板 ※12 ×	
		ｺﾝｸﾘｰﾄ仕上りの平たんさ ・a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][表8.1.5]	
		4 改質ｱｽﾌﾙﾄｼｰﾄ防水	
		[3.1.4][表3.1.1][3.4.2][3.4.3][表3.4.1～表3.4.3]	
		防水改修工法の種類 施工箇所 新規防水層の種別 シートの厚さ(mm)	
		密着工法 ・M4AS	
		・AS-T1 下層用 ※2.5以上	
		・AS-T2 上層用 ※3.0以上	
		・AS-J2 ※3.0以上	
		・M3AS	
		・AS-T3 下層用 ※1.5以上	
		上層用 ※3.0以上	
		・POAS	
		・AS-T4 ※4.0以上	
		・AS-J1 ※1.5以上	
		※2.0以上	
		・AS-J3 ※3.0以上	
		断熱工法 ・M3ASI	
		・AS1-T1 下層用 ※1.5以上	
		上層用 ※3.0以上	
		・M4ASI	
		・AS1-J1 下層用 ※1.5以上	
		上層用 ※2.0以上	
		・POASI	
		・二重ドレンの設置(POAS工法及びPOASI工法の場合)	
		・既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去(M4AS工法及びM4ASI工法)	
		・断熱工法の断熱材 厚さ(mm) ・材質 ・	
		・下地に部分的に密着又は接着を行う工法 ※製造所の標準仕様	
		[3.1.4][表3.1.1][3.5.2][3.5.3][表3.5.1]～[表3.5.3]	
		防水改修工法の種類 施 工 箇 所 新規防水層の種別 備 考	
		(厚さ(mm)) 脱気装置 二重ドレン	
		・POS工法	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	
		・M1(※1.5)	
		・M2(※1.5)	
		・M3(※1.2)	
		・SF1(※1.2)	
		・SF2(※2.0)	

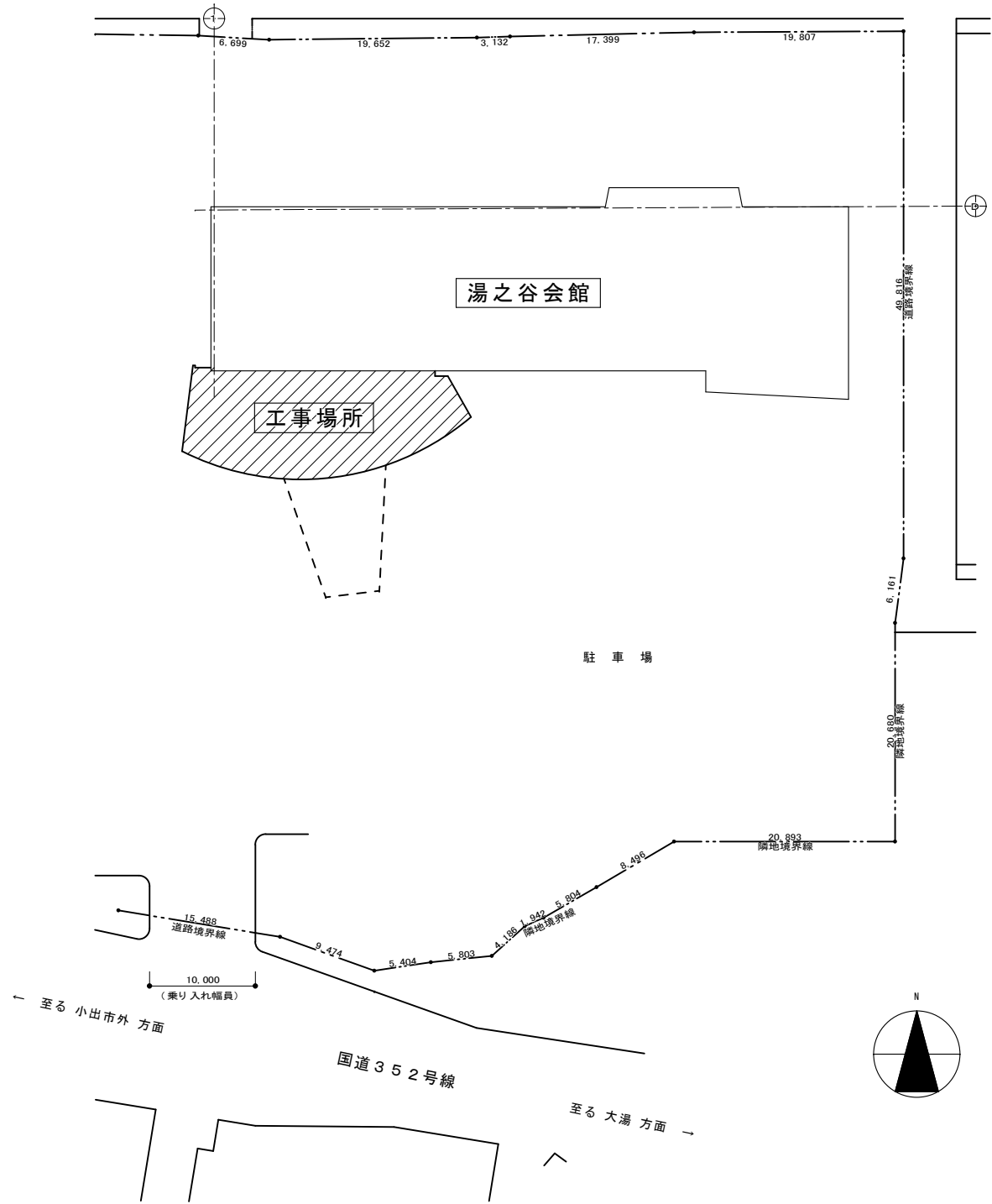
[illegible]

[illegible]

[illegible]

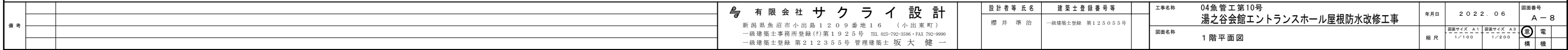


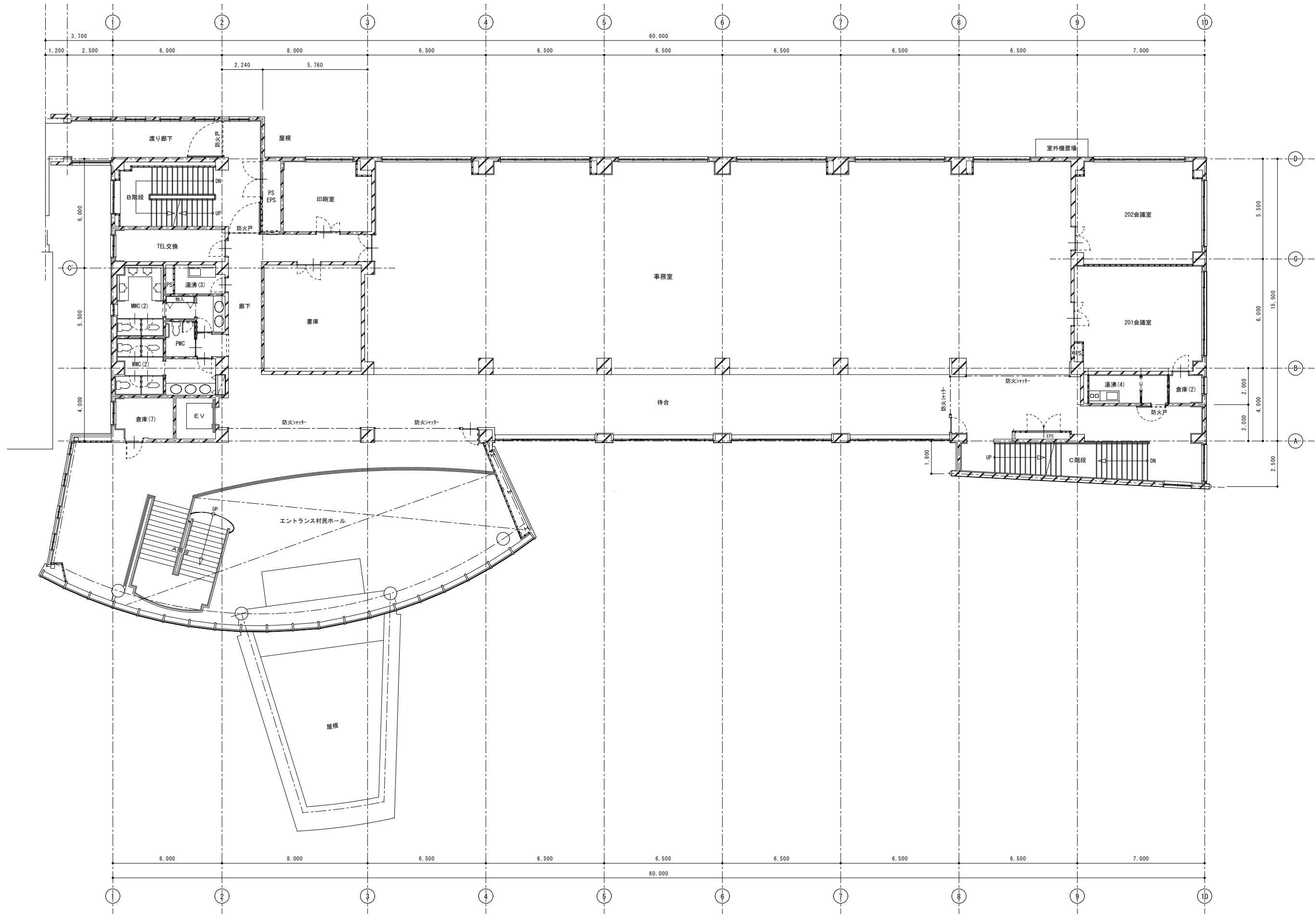
案内図



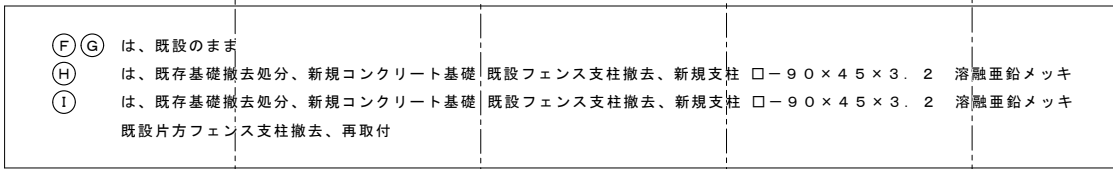
配置図 S = 1 / 3 0 0


備考			有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂大健一	設計者等氏名 櫻井 淳治	建築士登録番号等 一級建築士登録 第125055号	工事名称 04魚管工第10号 湯之谷会館エントランスホール屋根防水改修工事	年月日 2022.06	図面番号 A-7
						図面名称 案内図・配置図	縮尺 縮尺 A1 1/300 A3 1/600	電機 機

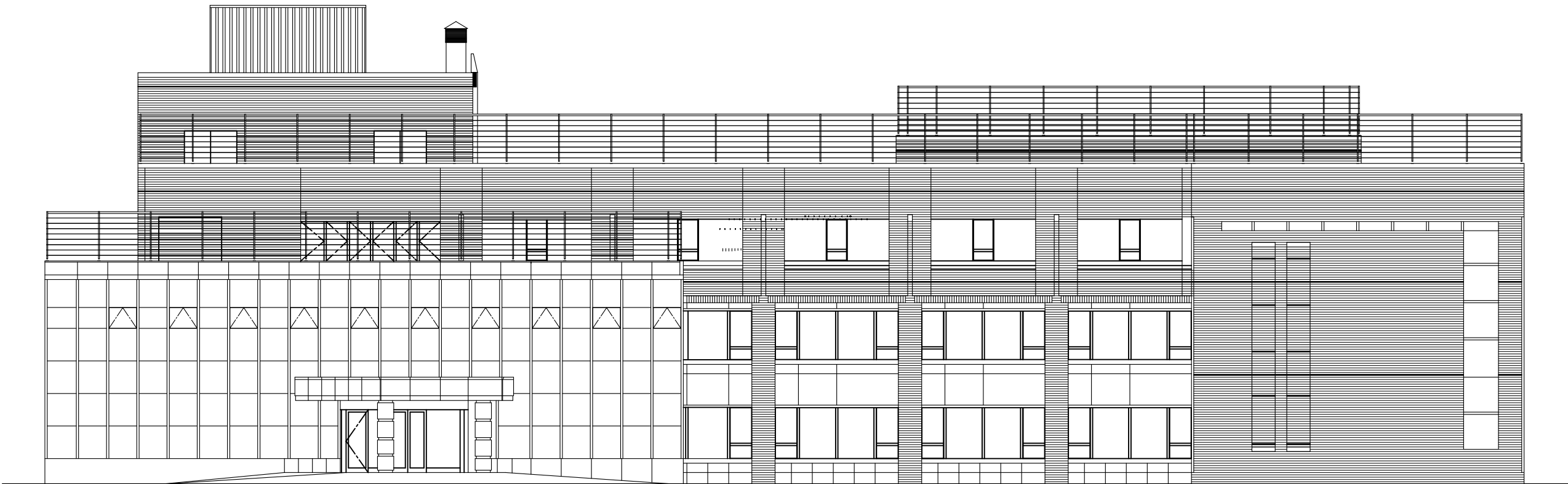




備考	有限会社 サクラ イ 設 計				設計者等氏名 櫻 井 淳 治	建築士登録番号等 一級建築士登録 第125055号	工事名称 04魚管工第10号 湯之谷会館エントランスホール屋根防水改修工事	年月日 2022.06	図面番号 A-9
	新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂大 健一								
2階平面図								縮尺 図面サイズ A3 1/100 図面サイズ A3 1/200	電 機 機

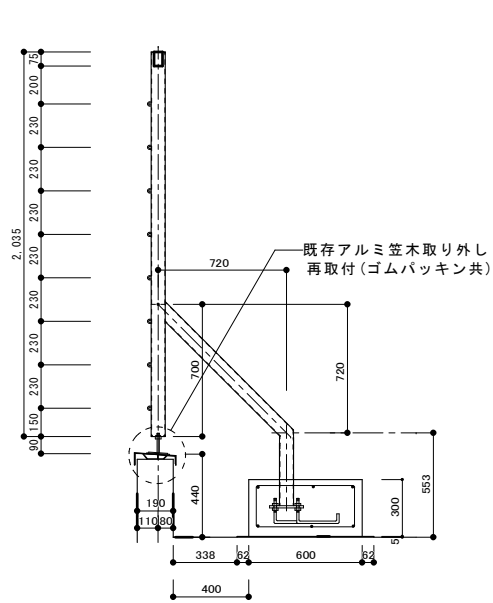


備 考	※本図面に記載の製品は参考品である。			 有 限 会 社 サ ク ラ イ デ ィ ン グ 新潟県魚沼市小出島1209番地16 （小出東町） 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂 大 健 一	設計者等氏名 櫻 井 淳 治 一級建築士登録 第125055号	建築士登録番号等 一級建築士登録 第125055号	工事名称 04魚管工第10号 湯之谷会館エントランスホール屋根防水改修工事	年月日 2 0 2 2 . 0 6	図面番号 A - 1 0			
										図面名称 3階平面図	縮 尺 縮小サイズ A1 1/100 縮小サイズ A2 1/200	機 電 機

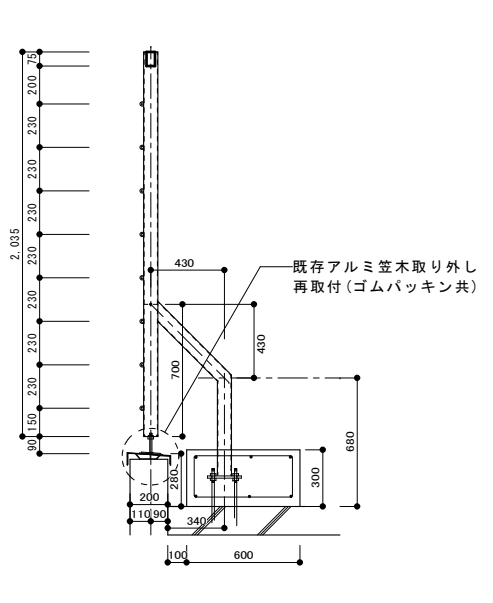


正面 立面図（参考図） S = 1 / 1 0 0

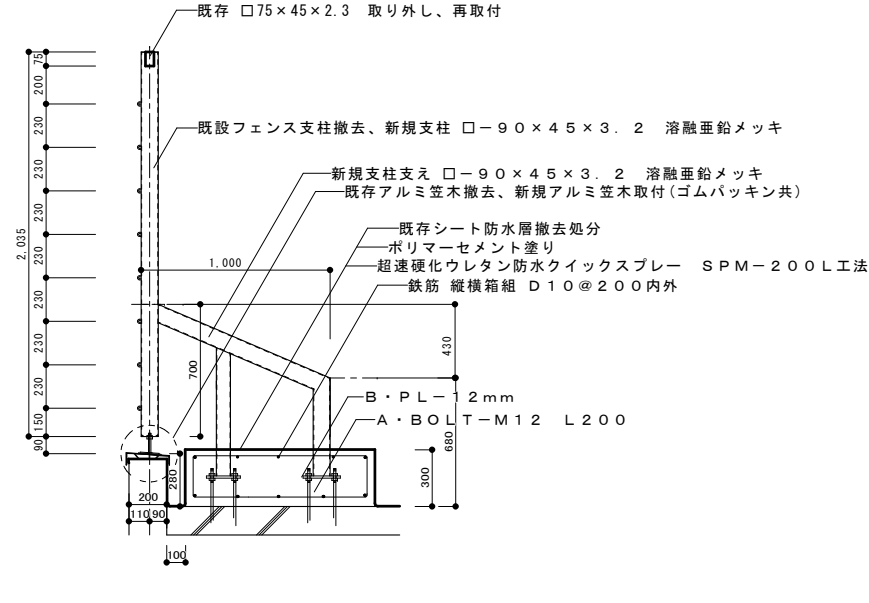
備考		有限会社 サクラ イ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16（小出東町） 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂 大 健 一	設計者等氏名	建築士登録番号等	工事名称	04魚管工第10号 湯之谷会館エントランスホール屋根防水改修工事	年月日	2022.06	図面番号	A-11					
											図面名称	縮尺	原図サイズ A1 1/100	図面サイズ A3 1/200	電 機 構 機



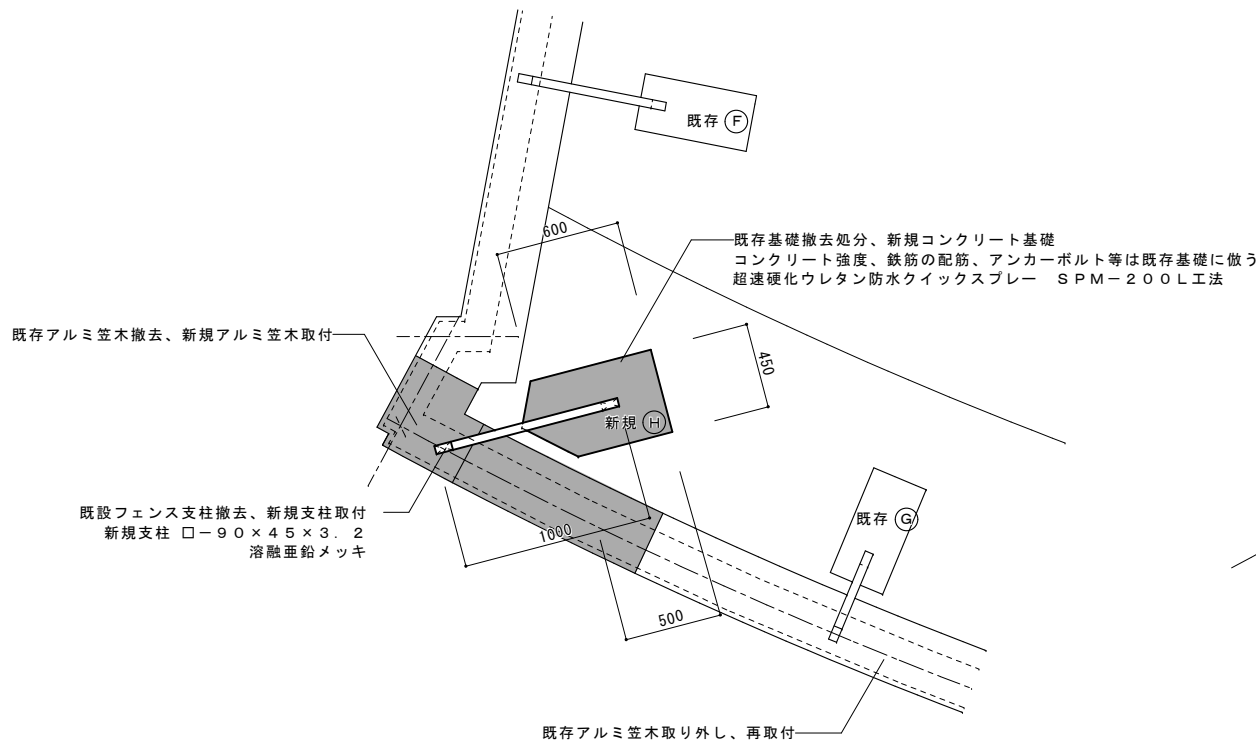
既存詳細図 ㊦ (参考図)



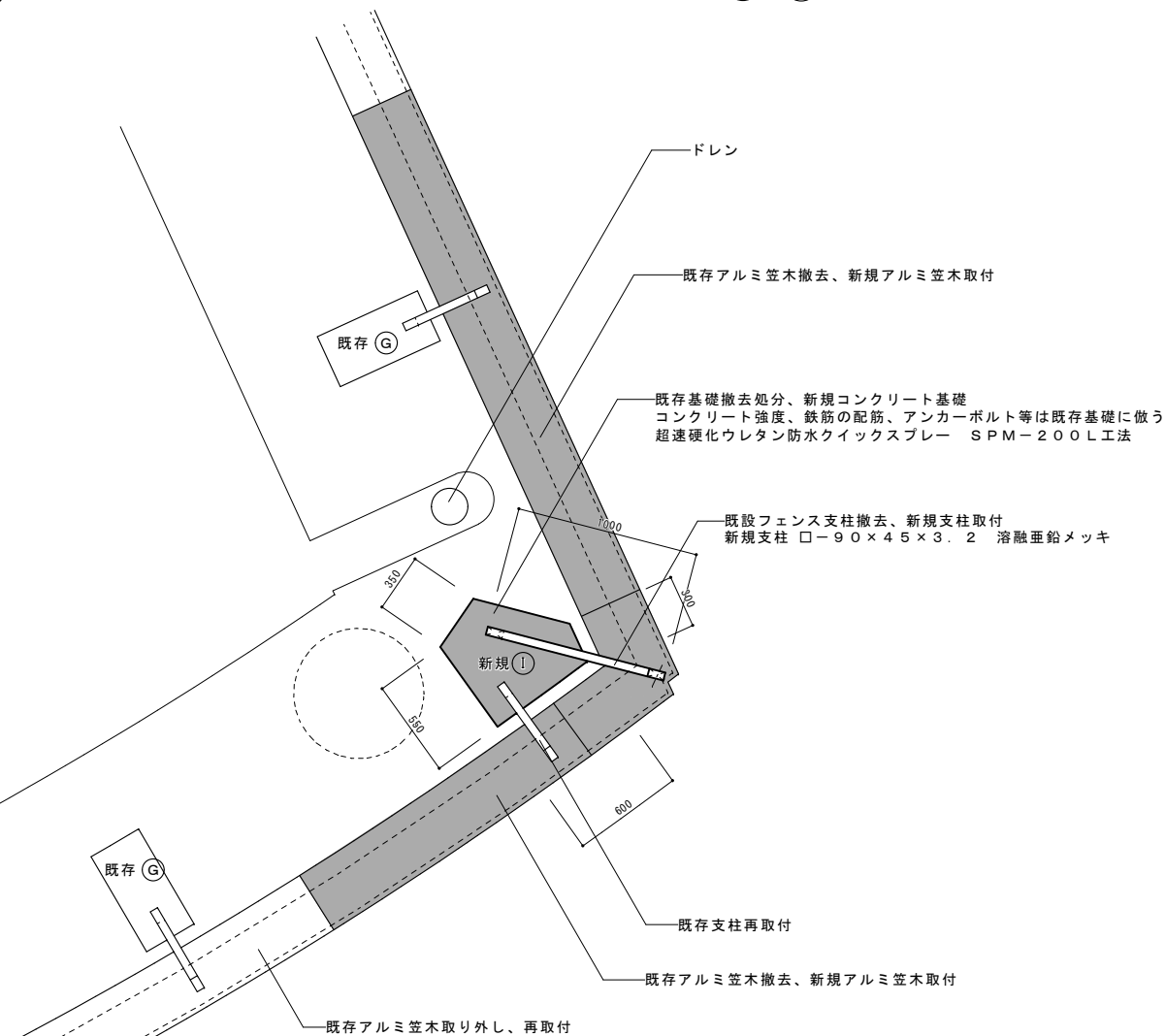
既存詳細図 ㊧ (参考図)



新規 詳細図 ㊨, ㊩

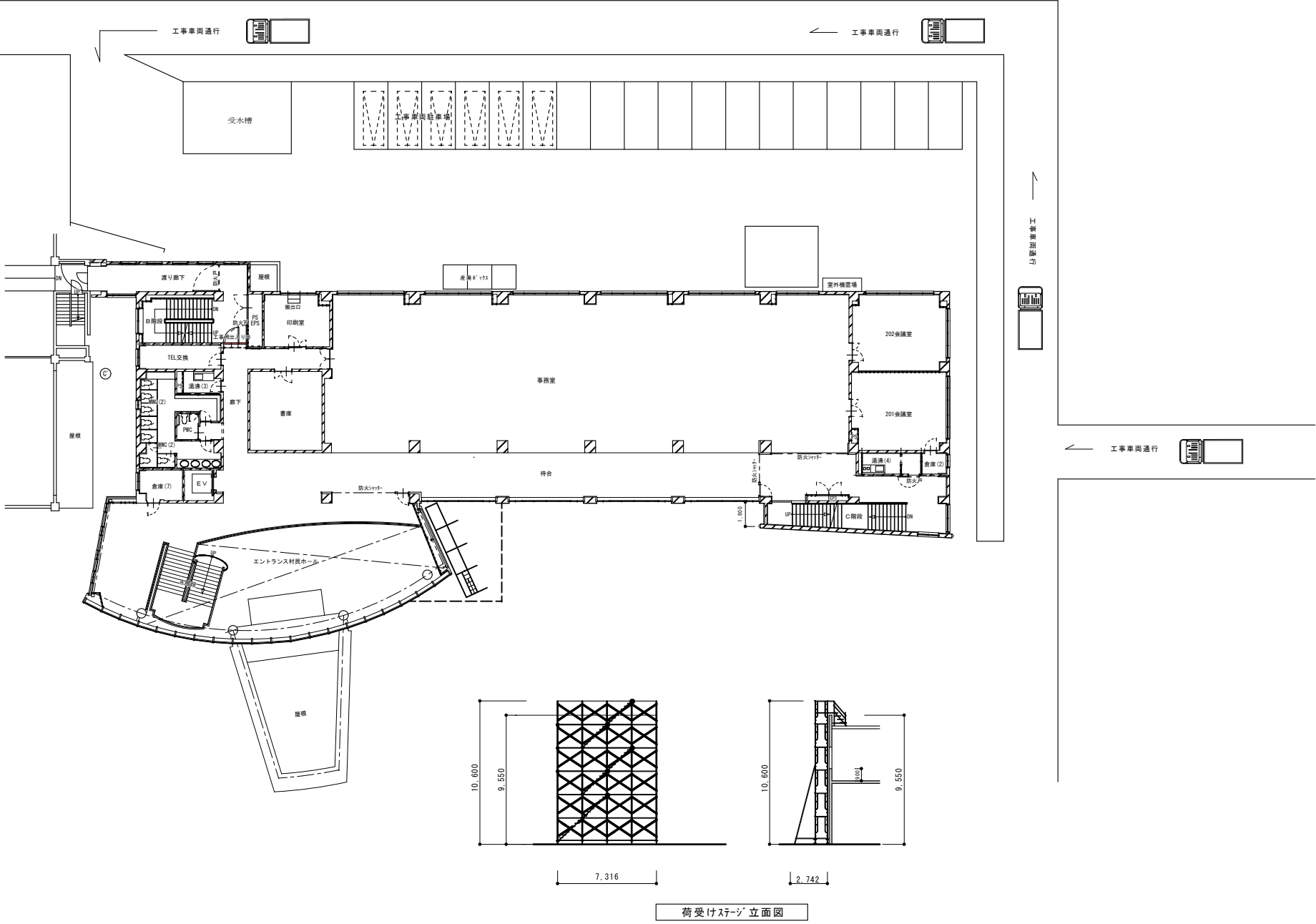


新規 ㊨支柱廻り 平面詳細図



新規 ㊩支柱廻り 平面詳細図

備考	※本図面に記載の製品は参考品である。					有限会社 サクラ イ 設 計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(付)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂 大 健 一	設計者等氏名 櫻 井 淳 治	建築士登録番号等 一級建築士登録 第125055号	工事名称 04魚管工第10号 湯之谷会館エントランスホール屋根防水改修工事	年月日 2022.06	図面番号 A-12	図面サイズ A1 1/20 図面サイズ A3 1/40	縮 尺	機 器	電 機
詳細図 1															



備考		有限会社 サクライ 設計 新潟県魚沼市小出島1209番地16 (小出東町) 一級建築士事務所登録(特)第1925号 TEL 025-792-3586・FAX 792-9990 一級建築士登録 第212355号 管理建築士 坂大健一	設計者等氏名 櫻井 淳治	建築士登録番号等 一級建築士登録 第125055号	工事名称 04魚管工第10号 湯之谷会館エントランスホール屋根防水改修工事	年月日 2022.06	図面番号 A-14
					図面名称 仮設計画図 (参考図)	縮尺 縦横 A1 1/200 A3 1/400	電機 機械